



2020年10月8日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所  
 代表者名 代表取締役社長 土谷 康彦  
 (JASDAQ コード番号:4920)  
 問合せ先 取締役人事総務部長 瀧川 順  
 (TEL. 03-3456-0561)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年4月14日に公表しました2021年2月期(2020年3月1日~2021年2月28日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想の修正について

(1) 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2020年8月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,248	△449	△431	△322	△153.69
今回修正予想(B)	5,081	△181	△189	△135	△64.46
増減額(B-A)	△167	268	241	187	
増減率(%)	△3.2	-	-	-	
(ご参考)前年同期実績 (2020年2月期第2四半期)	6,101	324	284	206	98.31

(2) 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2021年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,135	△60	△79	△64	△30.89
今回修正予想(B)	9,803	△484	△353	△252	△120.50
増減額(B-A)	△2,331	△423	△274	△187	
増減率(%)	△19.2	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	12,207	449	405	283	135.31

## 2. 個別業績予想の修正について

(1) 2021年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2020年3月1日~2020年8月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,981	△507	△365	△174.34
今回修正予想(B)	3,737	△333	△235	△112.46
増減額(B-A)	△243	174	129	
増減率(%)	△6.1	-	-	

## (2) 2021年2月期通期個別業績予想数値の修正(2020年3月1日~2021年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,507	△290	△208	△99.67
今回修正予想(B)	7,475	△507	△361	△172.36
増減額(B-A)	△2,032	△217	△152	
増減率(%)	△21.4	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	9,956	262	180	86.27

## 3. 業績予想の修正の理由

2021年2月期の第2四半期累計期間におきまして、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大の影響で、感染防止に向けた外出規制やマスク着用による化粧頻度の低下、海外旅行規制によるインバウンド需要の急減や免税店売上の急減など、化粧品市場は大きな影響を受けました。当社におきましても、国内・海外の化粧品メーカーからの受注の減少や後ろ倒しを受けて、連結業績・個別業績共に、売上高は前回発表予想を下回る結果となり、昨年竣工した「つくば工場の第3期拡張工事」投資や海外子会社の生産能力拡張投資に伴う諸費用増等もあって赤字の計上を余儀なくされる見込みですが、その赤字額は各種コスト圧縮努力で前回発表予想値より改善する見込みです。

2021年2月期の通期業績予想につきましては、前回発表予想では、新型コロナウイルス感染症の影響の期間が不透明であったため、第3、第4四半期については業務運営の正常化を前提とした見通しを策定しておりましたが、現時点では第3四半期以降においても新型コロナウイルス感染症の影響から受注が低迷、売上高は第2四半期累計期間並みに留まる見通しです。また、利益面でも、引き続き各種コスト圧縮努力等によって第2四半期累計期間よりも若干の改善を見込みますが、赤字の計上を余儀なくされるため、連結業績・個別業績共に、前回発表の通期予想を下回る見込みです。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響の程度や期間が不透明な中、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上